

経営比較分析表（平成28年度決算）

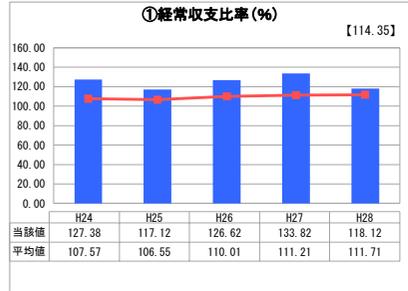
岐阜県 神戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	96.18	99.48	1,620	

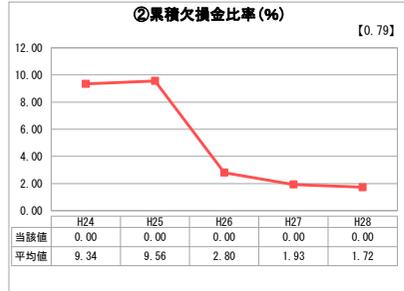
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
19,609	18.78	1,044.14
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
19,074	18.00	1,059.67

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成28年度全国平均

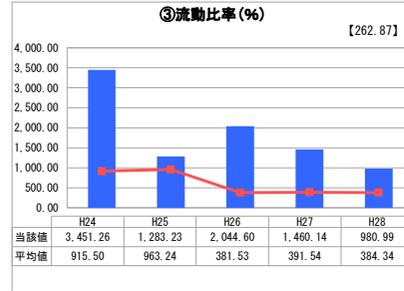
1. 経営の健全性・効率性



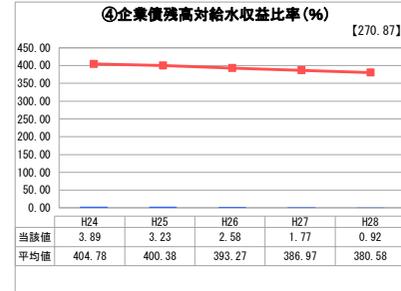
「経常損益」



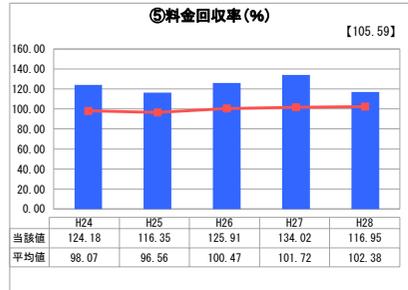
「累積欠損」



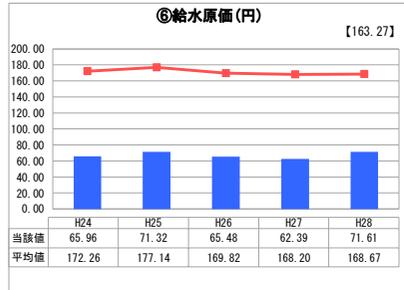
「支払能力」



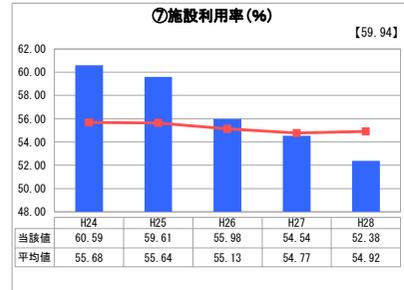
「債務残高」



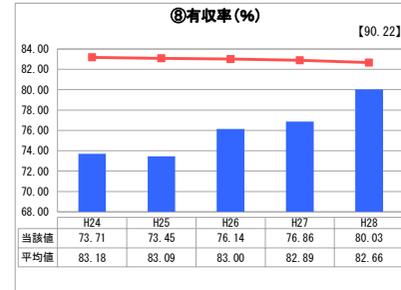
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

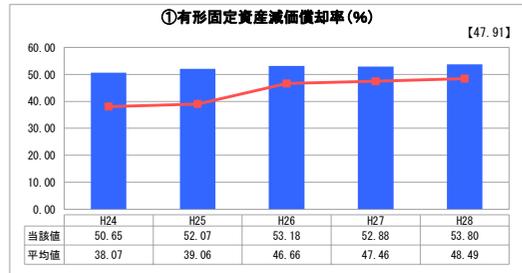


「施設の効率性」

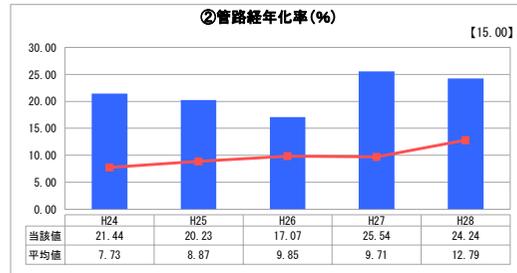


「供給した配水量の効率性」

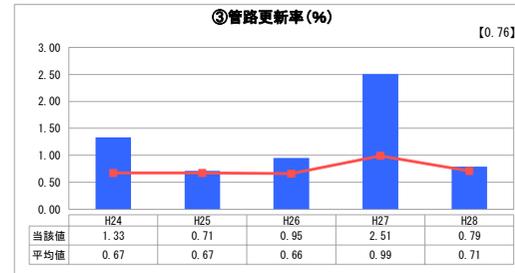
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えており、累積欠損金は発生していない。料金回収率も100%を超えており、必要な費用を料金収入でまかなえている。また、流動比率も高く維持されており支払い能力に問題は無い。したがって、安定した経営となっている。ただし、人口減少により今後は給水収益が減少することが予想されるため、動向に注意が必要である。

また、給水原価は水道水源として良質な地下水が得られるため、浄水処理費用が安価であり、類似団体と比較して非常に低く抑えられている。企業債残高対給水収益比率は、企業債の償還が本年度で終わるため低く維持されている。

一方、効率性を表す施設利用率は、人口減少等による給水量の減少により年々低下し、類似団体と比較して低い数値となっている。そのため、施設更新の際には必要容量や能力等の見直しが必要である。有収率は類似団体と比較してやや低い数値となっているが、近年は漏水調査や管路更新等を積極的に実施しているためか改善されており、今後も引き続き有収率の改善に努めていく。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率は類似団体と比較して高く、年々管路の老朽化は進んでいる。しかし、類似団体を上回るペースで管路更新を積極的に行っており、有形固定資産減価償却率は近年ほぼ横ばいに維持されている。

今後、耐用年数を迎える管路が増加するため、老朽管の更新を引き続き積極的に行っていく。

全体総括

経常収支は黒字であり、累積欠損金も無く健全な経営を行っている。近年、管路更新を積極的に行った結果、有収率が上昇しており、経営の安定につながっている。ただし、類似団体と比較して管路経年化率はやや高く、管路の老朽化が進んでいるため、引き続き今後も管路更新率を高く維持していく必要がある。

施設利用率が類似団体と比較してやや低くなっており、将来需要の予測を踏まえ施設・設備の性能の合理化を検討するとともに、経営に与える影響を踏まえた上で老朽化対策や投資のあり方の検討をしていく必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。